



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社キリン堂

コード番号 2660 URL <http://www.kirindo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺西 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 井村 登

TEL 06-6394-0039

四半期報告書提出予定日 平成25年12月26日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年2月16日～平成25年11月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	76,728	1.3	963	15.4	1,294	16.8	525	△17.0
25年2月期第3四半期	75,772	△0.4	834	0.9	1,107	△2.1	632	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 581百万円 (△9.7%) 25年2月期第3四半期 643百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	46.34	—
25年2月期第3四半期	55.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	42,116	11,363	26.7
25年2月期	40,960	11,008	26.6

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 11,244百万円 25年2月期 10,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年2月期	—	10.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月16日～平成26年2月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,900	3.1	2,230	15.9	2,590	15.5	790	△10.5	69.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	11,332,206 株	25年2月期	11,332,206 株
26年2月期3Q	1,086 株	25年2月期	1,086 株
26年2月期3Q	11,331,120 株	25年2月期3Q	11,331,139 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策推進を背景に、株式市場は好況が維持され、企業収益や個人消費に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復傾向にありました。一方、来年4月からの消費税率の引き上げ決定による消費低迷の懸念等、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしております。

当社グループの属するドラッグストア業界におきましては、お客様の低価格志向・節約志向が継続する中、医薬品ネット販売解禁の動きを背景に、業種・業態を越えた競争の激化も相まって、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」の確立をスローガンに掲げ、商圈内のお客様にとって便利で買いやすい売場づくり、セルフメディケーションの受け皿となる「かかりつけ薬局」としての機能を高め充実させるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。さらに、業態間競争に勝ち抜く収益基盤の確立を図るため、経営効率改善に注力しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き、従業員の意識改革を図るための教育を徹底するとともに、既存店の活性化を推し進めるほか、調剤事業の推進（調剤売上高の拡大）に努めてまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業におきましては、既存店の活性化対策として、当社が7店舗の改装を実施いたしました。また、ヘルス&ビューティケア商品のカウンセリング販売に注力したほか、ポイントカードによるお客様の囲い込みとポイントカード会員様に対する販促策の実施等に努めてまいりました。

さらに、調剤部門の伸びに加え、春先の花粉関連商品や夏場の日焼け止め・飲料等の季節商材が好調に推移したことなどから増収となりました。

利益面につきましては、相対的に粗利率の高い調剤部門の売上構成比が前年同期に比べアップしたことなどに加え、コストコントロールに努めた結果、増益となりました。

出退店状況におきましては、当社がスーパードラッグストア5店舗、小型店2店舗の計7店舗を出店いたしましたほか、スーパードラッグストア2店舗、小型店3店舗の計5店舗を閉店いたしました。

さらに、平成25年9月、連結子会社である忠幸麒麟堂（常州）商貿有限公司が「蘇州HARMONY CITY店」を中国江蘇省蘇州市に出店いたしました。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の当社グループ店舗数は、以下のとおり（合計326店舗／内、海外店舗2店舗）となりました。

	前期末	出店等	閉店	当第3四半期末
スーパードラッグストア (内、調剤薬局併設型)	268 (27)	5 (1)	2 (—)	271 (28)
小型店 (内、調剤薬局併設型) (内、調剤薬局)	51 (5) (19)	2 (—) (1)	3 (—) (1)	50 (5) (19)
その他 (内、調剤薬局併設型)	1 (1)	— (—)	— (—)	1 (1)
F C店	2	—	—	2
国内計	322	7	5	324
中国	1	1	—	2
海外計	1	1	—	2
合計	323	8	5	326

この結果、小売事業の売上高は762億76百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は12億49百万円（同11.3%増）となりました。

<その他>

医療コンサルティング事業におきましては、連結子会社である(株)ソシオンヘルスケアマネジメントが営む在宅医療サポート事業が堅調に推移いたしました。

また、卸売事業におきましては、中国の連結子会社による日系進出企業等への商品供給の増加など、順調に推移いたしました。一方、国内の連結子会社は、販売促進に注力したものの競争激化等の影響を受けました。

この結果、その他の売上高は4億52百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は55百万円（同11.0%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高767億28百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益9億63百万円（同15.4%増）、経常利益は12億94百万円（同16.8%増）となりました。また、四半期純利益は前年同期における一過性の要因（繰越欠損金の利用に伴う節税効果）の反動減により、5億25百万円（同17.0%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億56百万円増加し、421億16百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億1百万円増加し、307億53百万円となりました。これは主に、電子記録債務の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億54百万円増加し、113億63百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加などによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成25年4月1日に発表した平成26年2月期の連結業績予想）から変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

当社における、調剤薬品の評価方法は、従来、最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっておりましたが、調剤在庫の重要性が増したため、新たな調剤在庫管理システムの導入を行ったことを機に、第1四半期連結会計期間より総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,500	5,905
受取手形及び売掛金	2,101	2,104
たな卸資産	11,572	12,701
その他	2,473	2,494
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	21,598	23,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,434	6,556
その他（純額）	1,570	1,681
有形固定資産合計	8,004	8,237
無形固定資産		
のれん	1,838	1,509
その他	390	361
無形固定資産合計	2,228	1,871
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,988	3,997
その他	5,532	5,252
貸倒引当金	△392	△397
投資その他の資産合計	9,128	8,852
固定資産合計	19,362	18,960
資産合計	40,960	42,116

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,276	12,927
電子記録債務	—	1,254
短期借入金	4,928	4,527
未払法人税等	300	500
賞与引当金	358	743
ポイント引当金	24	23
その他	2,004	2,263
流動負債合計	20,892	22,239
固定負債		
長期借入金	7,011	6,508
資産除去債務	1,011	1,043
その他	1,036	962
固定負債合計	9,059	8,513
負債合計	29,951	30,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,237	3,237
資本剰余金	3,223	3,223
利益剰余金	4,389	4,688
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,849	11,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	73
為替換算調整勘定	10	23
その他の包括利益累計額合計	54	97
少数株主持分	105	118
純資産合計	11,008	11,363
負債純資産合計	40,960	42,116

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)
売上高	75,772	76,728
売上原価	55,663	56,351
売上総利益	20,108	20,377
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	7,542	7,775
賞与引当金繰入額	710	739
賃借料	4,094	4,046
その他	6,926	6,852
販売費及び一般管理費合計	19,274	19,414
営業利益	834	963
営業外収益		
受取情報処理料	283	284
受取賃貸料	232	270
その他	195	188
営業外収益合計	710	742
営業外費用		
支払利息	126	93
賃貸費用	211	248
その他	99	68
営業外費用合計	437	411
経常利益	1,107	1,294
特別利益		
投資有価証券償還益	—	6
その他	—	1
特別利益合計	—	7
特別損失		
減損損失	44	59
退職給付制度終了損	113	—
その他	16	11
特別損失合計	174	71
税金等調整前四半期純利益	932	1,230
法人税、住民税及び事業税	383	851
法人税等調整額	△94	△159
法人税等合計	289	692
少数株主損益調整前四半期純利益	643	538
少数株主利益	10	13
四半期純利益	632	525

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	643	538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	30
為替換算調整勘定	0	12
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	0	43
四半期包括利益	643	581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	633	567
少数株主に係る四半期包括利益	10	13

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	75,387	384	75,772	—	75,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	565	565	△565	—
計	75,387	949	76,337	△565	75,772
セグメント利益	1,123	62	1,185	△350	834

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△350百万円には、セグメント間取引消去11百万円、のれんの償却額△342百万円及び営業権の償却額△20百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年2月16日 至 平成25年11月15日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	76,276	452	76,728	—	76,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	459	459	△459	—
計	76,276	912	77,188	△459	76,728
セグメント利益	1,249	55	1,305	△342	963

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△342百万円には、セグメント間取引消去16百万円、のれんの償却額△340百万円及び営業権の償却額△17百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

販売の状況

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年11月15日)	対前年同四半期増減率 (%)
小売事業 (百万円)	76,276	1.2
その他 (百万円)	452	17.9
合計(百万円)	76,728	1.3

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月16日 至 平成25年11月15日)			
	売上高 (百万円)	対前年同四半期 増減率 (%)	構成比 (%)	
商品売上高	医薬品	14,296	0.4	18.7
	健康食品	3,434	2.2	4.5
	化粧品	19,707	1.0	25.8
	育児用品	2,196	2.6	2.9
	雑貨等	30,172	△0.6	39.6
	計	69,807	0.3	91.5
調剤売上高	6,238	12.1	8.2	
その他	230	0.2	0.3	
合計	76,276	1.2	100.0	

(注) 小売事業の「その他」は、社員販売売上高等であります。